

# みみずコンポストで花いっぱい運動

## 1 概要

有機ゴミを削減するために、みみずを飼ってゴミを処理します。主に家庭の生ゴミをみみずを飼って処理しますが、欧米では野球場、刑務所、病院、学校、基地など、農場（家畜の糞）など、たくさんの生ゴミやその他の有機ゴミの処理にミミズが使われています。

## 2 ねらい

平均的4人家族の台所から出るゴミは、一日あたり約1kgとされています。そのうち、特に生ゴミは、放っておくとにおいがし、ゴミ集収日に外に出すとカラスや猫に荒らされたりと、その処理は大変です。その生ゴミについて、「においを少なく」、「小スペースで」、「できるだけ簡単に」、「コスト少なく」処理して、「肥料を作る」のがみみずコンポストです。

## 3 準備物

深さ30～45センチ程度の不透明の容器（段ボール箱でもよい）

### 注意点

深さは30～45センチ程度が適切です。浅すぎると、生ゴミを埋めて土をかぶせるスペースがありません。深すぎると、下の方には空気が入らず、嫌気性の状態になり、みみずが死んでしまったり、逃げ出そうとしたりし、また、生ゴミも分解されず悪臭がします。

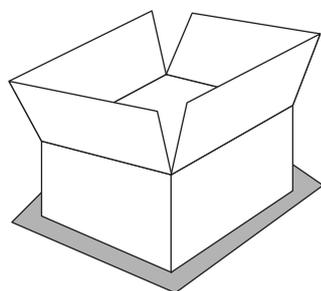
みみずは光をさけるので、容器は、段ボール箱など、透明でないものを使います。

ミカン箱などの段ボール1箱につき、500グラムから1キログラムくらいの生ゴミが適当です。作る前に、自分の家の生ゴミの量を調べてみましょう。

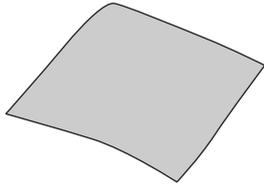
みみずは、皮膚から酸素を取り入れ、二酸化炭素を出します。また、微生物などの共存生物も酸素を必要とします。みみず箱の中に十分に酸素が行き渡るようにする必要があります。箱の側面、上から7～8センチ程度のところに、直径数ミリ～2センチ程度の穴をいくつか開けると良いでしょう。

## 4 方法

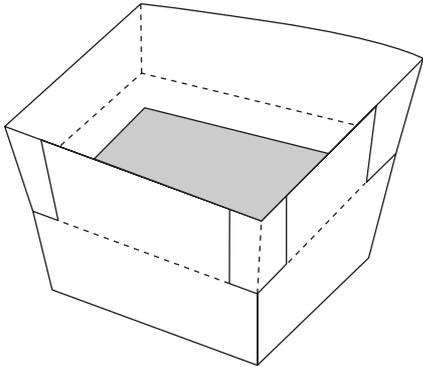
段ボールにビニールシートをひき、土と米ぬかと鶏糞を少し入れ、ミミズを入れます。（10匹くらい）



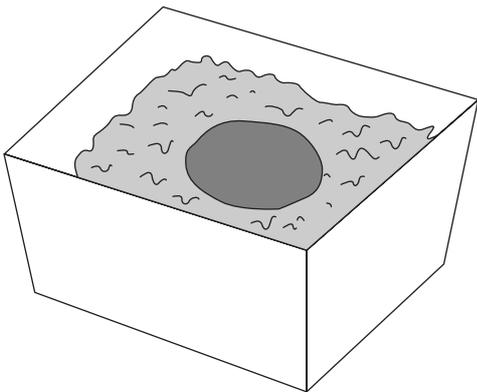
ミカン箱など段ボール箱を用意してください。



箱の内側の大きさに合わせて、ビニールを敷きます。



ビニールシートは底に敷いて下さい。あまり側面にかかると、ミミズが窒息します。



土と、米ぬかや鶏糞などを入れて、ミミズを入れます。10匹前後です。畑などで取れるといいのですが、ミミズをとるのも最近けっこう大変かもしれませんね。

用意ができれば生ゴミを入れましょう。

最初は、生ゴミを少なめに入れて、分解能力を試してから、生ゴミの量を増やしていきましょう。